

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	工業英語		
科目基礎情報							
科目番号	0131		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	創造工学科 (情報コース)		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	英文法ワークショップ (桐原書店) リスニングボックス1 (啓林館)						
担当教員	長谷川 佐知子						
到達目標							
1. 科学技術の分野の最先端情報を英語で理解する。2. 科学技術分野での頻出の語句や表現を学び、意味を把握するだけでなく、未知の語句や表現も類推できる力を養う。3. 実際のコミュニケーションの現場を想定したダイアログやプレゼンテーションを素材にしたリスニングで、発信力を養う。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	応用問題に対応できる文法の力が ついている。		練習問題に対応できる文法の力が 身につけている。		文法の基礎力が身につけていない。		
評価項目2	チェックテスト 80%以上		60%以上		60%未満		
評価項目3	Listening 80%以上		60%以上		60%未満		
学科の到達目標項目との関係							
(F) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションの基礎能力を身につける。							
教育方法等							
概要	工科の学生が、英語で情報を収集し、自ら発信できるような力を身につける。できるだけ新しい話題性のある工業分野の英文を教材にし、自力で読み解く力をつける。						
授業の進め方・方法	学生はテキストの予習、授業に出席すること。授業の進め方はテキスト通りである。前期中間試験50%、前期末試験50%で達成度を総合評価し、60点以上を合格とする。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	unit 1 基本事項の確認	自動詞と他動詞/誤りやすい他動詞と自動詞/第4文型と第3文型との書きかえ/入試でねらわれる重要な動詞			
		2週	unit 2 時制	時制の基本/進行形/完了形			
		3週	unit 3 完了形	主な助動詞の用法/その他の助動詞の用法/助動詞+have+過去分詞/助動詞を含む慣用表現			
		4週	unit 4 助動詞	能動態と受動態/受動態のさまざまな形/受動態と時の表現/いろいろな文型・構文と受動態/群動詞の受動態/注意したい受動態の用法			
		5週	unit 5 受動態	不定詞の3用法/不定詞の注意すべき用法(1)/不定詞の注意すべき用法(2)/S+V+O+C(原形不定詞・to不定詞)/不定詞の慣用表現			
		6週	unit 6 不定詞	動名詞の働き/動名詞のさまざまな形/動名詞の慣用表現/動名詞と不定詞			
		7週	unit 7 動名詞	分詞の種類と用法/分詞構文/付帯状況のwith			
		8週	中間テスト	関係代名詞の種類と用法/関係副詞の種類と用法/限定用法と継続用法/複合関係詞			
	4thQ	9週	unit 8 分詞	等位接続詞/従属接続詞/相関表現			
		10週	unit 9 比較	仮定法と時制/仮定法の重要表現/条件がif節以外の仮定法			
		11週	unit 10 関係詞	形容詞・副詞の比較変化/原級を用いた表現/比較級を用いた表現/最上級を用いた表現			
		12週	unit 11 仮定法	否定/無生物主語			
		13週	unit 12 疑問詞	倒置/強調/省略/挿入/同格			
		14週	unit 13 その他の重要事項	前置詞の基本的な意味/群前置詞			
		15週	期末テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30